

## 2021年度 第1回医療安全監査委員会 結果概要

日時：2021年08月30日（月）13時00分～15時20分

場所：国立国際医療研究センター病院 研修棟1階レセプションルーム及びteamsにてオンライン併用

出席者：（外部委員）山本 知孝 東京大学医学部附属病院 環境安全管理室長

細川 大輔 細川大輔法律事務所・弁護士

島 宏一 グリー株式会社・取締役監査等委員

（内部委員）針田 哲 国立国際医療研究センター 企画戦略局長

山田 賢二 国立国際医療研究センター 統括事務部長

（院内参加者）杉山病院長

原副院長・医療安全管理責任者

高本医療安全管理部門長・室長

木村看護師長・医療安全管理者

廣井副薬剤部長・医薬品安全管理責任者

深谷臨床工学技士長・医療機器安全管理責任者

大曲国際感染症センター長

堀井副看護師長・感染管理認定看護師

河合総務課長

鈴木患者相談係長

大樂医療安全管理室事務（書記担当）

### 報告・審議事項

- ・医療に係る安全管理のための指針の改訂について（医療機器安全管理規程、医療機器安全管理委員会細則、透析機器安全管理委員会規程）
- ・医療安全管理体制（組織図、医療安全管理室構成員）
- ・医療に係る安全管理のための委員会（医療安全管理委員会、リスク分析委員会、医療機器安全管理委員会、透析機器安全管理委員会、医薬品安全管理委員会）
- ・医療安全管理部門への報告（インシデント・アクシデントレポート、医療事故情報収集等事業への事例報告、患者影響レベル3b以上事例、患者影響レベル3a事例、合併症事例、事例検討会）
- ・外部への報告（報告事例なし）
- ・医療安全に係る研修実施状況（全職員研修、新規採用者研修など）
- ・第三者評価（2021年1月～6月該当事項なし）
- ・医療安全に係る取り組み（リスクマネージャー会議、医療安全パトロール、医療安全推進週間、患者情報ワーキンググループ、誤接続防止コネクター入替）
- ・未承認新規医薬品等の使用に関する報告
- ・高難度新規医療技術評価部報告
- ・紛争事案
- ・院内感染管理室報告

## 講 評

- ・ クラスターを発生させず COVID-19 重症患者を多く診療していることは評価される。引き続き感染防止の徹底のもと診療体制を維持し、患者対応をお願いしたい。
- ・ 特定機能病院として医療安全管理体制等の要件を満たしていることを確認した。
- ・ インシデント等について適切に検討されていることを確認した。影響度の高い事例だけでなく、影響度は高くないが重要な内容の事例を検討する体制を継続されたい。
- ・ 患者に大きな影響があった事例の問題点についてより詳細な報告があると分かりやすい。
- ・ 死亡事例の医療行為との関連性については積極的に客観的な意見も取り入れて判断することが望まれる。
- ・ リスクマネージャー会議の出席率を高める工夫をされたい。

### 【指摘事項への対応】

- ・ 患者影響レベル以外に検討すべき事例の基準を検討する。
- ・ 患者影響の大きな事例について問題点をより明確に示す資料とする。
- ・ 死亡事例における医療行為と死亡との関連性について検討する場を設置し、整備中である。
- ・ リスクマネージャーの出席に関するフィードバック等を検討する。